

JAUW 茨城支部だより 2017年度-3号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2017年11月25日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部

立冬も過ぎて冬本番の到来、師走を向かえようとしています。皆様にとって、酉年の一年はどのような一年だったのでしょうか？私は本を完成させるという大きな目標があって、目の廻るような一年でした。当初の予定から一年遅れた発刊予定の9月も過ぎ、最後の仕上げとなる校正作業でも時間を要し、完成したのが10月に入ってからでした。発刊日は10月15日で、全国セミナー直前の正に滑りこみセーフのタイミングでした。

久方ぶりの秋晴れの天候にも恵まれた10月26日と27日の両日、2017年度JAUW全国公開セミナーが国立女性教育会館で開催されました。当支部から9名が参加し、Mさんが新規事業委員会報告、Zさんが女性エンパワメント委員会報告、支部報告では私が本制作について報告いたしました。翌日の分科会ではNさんが、中高一貫校の校長として取り組まれた教育実践報告をされました。支部会員4人が報告し分科会のリーダーでもNさんが務められ、当支部の活躍が光る全国セミナーでした。

原稿を寄せて頂いた皆様、円卓会議の講義をして下さった皆様、長期にわたり編集・校正に汗をかいて頂いた編集委員の皆様、本当にお世話様でした。また、表紙を飾った写真を提供して下さった安様、本制作の強力なご指導とご支援を最後まで惜しまなかった長谷川先生に心より感謝申し上げます。発刊した本は、国会図書館に納付されISBN(International Standard Book Number)という国際標準図書番号の付いた市頒本が遂に完成したのです。文真堂のホームページには社会学の本として紹介されています。皆様、出版元のホームページには、支部初の本『YOROI を脱いで・・・』が紹介されています。是非インターネットで検索してのぞいてみてください。26日には出版記念シンポジウムも開催しますが、今後は、この本を通して地域活動にどのように生かし、若い世代へ伝え残していくかが問われることとなります。会員各位のお力添えを心よりお願い申し上げます。

(：支部長 M・K)



10月27日分科会の発表：Y・N会員

- ◇ 中高一貫校での実践報告
 - ・ 教育が世界を変える
 - ・ リーダーシップを育てる



10月26日報告終えて鷺見会長と記念撮影

※ 2017年度全国公開セミナーに参加して

さる10月26日(木)埼玉県嵐山町にある国立女性教育会館で開催された「一般社団法人大学女性協会2017年度全国公開セミナー」に参加してきました。パワフルに発言し行動する女性群に圧倒された1日でした。我が茨城支部からも、K支部長が「支部の宝を地域へ未来へ」というテーマで、本制作のきっかけや経過、苦労話などを報告されました。出版本の「はじめに」と「おわりに」に掲載されている静間敏子さんの詩の紹介には、皆さん感動していました。

また、お茶の水女子大学学長 室伏 きみ子氏の講演は、「真のリーダーシップを発揮できる女性たちの育成～お茶の水女子大学の取り組みを通して～」というテーマで、女性の役割について話されました。社会の活力を持続するためには、多様な力、特に女性の力が必要と強調されていました。

「多角的な探求力と挑戦する姿勢、多様性を大切にすること」という言葉が心に残りました。

委員会報告、基調講演、支部報告等、内容の濃いセミナーで学びを深めることができました。

(T・A)

さる10月26日、27日に国立女性教育会館(ヌエック)で開催されたJAUW全国セミナーに参加しました。

2日目は、支部会員のNさんがリーダー、同じくZさんがサブリーダーを務める「教育が世界を変える～リーダーシップを育てる～」の分科会に出ました。Nさんからは中高一貫校校長の経験から、県のパイロット校として、不確実な未来を生き抜く「人間力」を備えた人材育成に向け、人間教育、科学教育、国際理解教育などの実際について報告されました。午後からのパネルディスカッション「女性の自立とは」では、仕事、教育、政治の側面から真のリーダーシップを発揮するための方策について、どの分野においても私たちがアクションを起こす必要があると話し合われました。

今回支部からの参加9名のうち6名が本部役員として活躍され、支部として誇らしく感じました。また、支部で発刊した「YOROIを脱いで・・・」についてK支部長から報告いただき、2日間のセミナー会場で販売することができました。

(E・M)

※ 水戸市男女平等参画推進月間事業に参加して

～「先輩女子のキャリアトーク」～

女性の更なる社会進出や女性の管理職を増やそうといったことが声高らかに叫ばれてから久しくなりますがなかなか進まないのが現状のようです。

そのような中、パネリストの方々家事や育児と仕事を両立させながらも常に向上心を持ってご自分のキャリアを積み現在の地位を確立されました。少しずつでも勉強を続けていくこと、その時の状況に応じて優先させなければならないことがあればそれを優先させること、焦らなくても少しずつ繋がっていく等々。これらのお話は、学生さんや専業主婦の方等これからのキャリアアップを考えている方にとって大いに参考になったことでしょう。

また、先輩女子として微力ながらも志を持った女性が活躍できるよう応援していかなければならないと思いました。今回は若い女性の参加も多かったようでとても良い企画だったと思います。

(H・I)

水戸市民企画提案事業として開催され育児室も設けられたため、学生さんや一般女性の参加も多く盛会でした。税理士・社会保険労務士・大学准教授の三人の皆さんがまず略歴を、その後キャリアを築くに至るまでの事を語られました。パワーポイントを用いて簡潔に要領よくまとめられていたので、学生さんにもわかりやすかったのではないかと思います。資格取得のために三人の皆さんともに通信教育を利用されたそうです。女性が家庭を持ち子育てをしながらの勉強は大変。一般女性の「今資格取得の勉強をしているが時間をとるのが難しい。どうしたら良いのだろう。」という質問に「一日に5分でも10分でも良いので続けることが大事です。」という回答がありました。やはり継続は力なりですね。ところで、学生さんと一般女性では少しニーズが違う気がします。一般女性を対象とする質問時間や懇談会を長めにとるシンポジウムを開くことができれば、キャリアアップを目指している女性へエールが送れるかもしれないと感じました。

(N・Y)

＊ 9月30日開催 先輩女子のキャリアトーク

受講者アンケート集計（45人中35人回答） 回答率 78 %

アンケートの一部を紹介します。

問5 今回の講座を受けて、地域の中の男女平等に対する認識に変化がありましたか。

認識が変わった（17人）変わらない（7人）分からない（6人）未回答（5人）

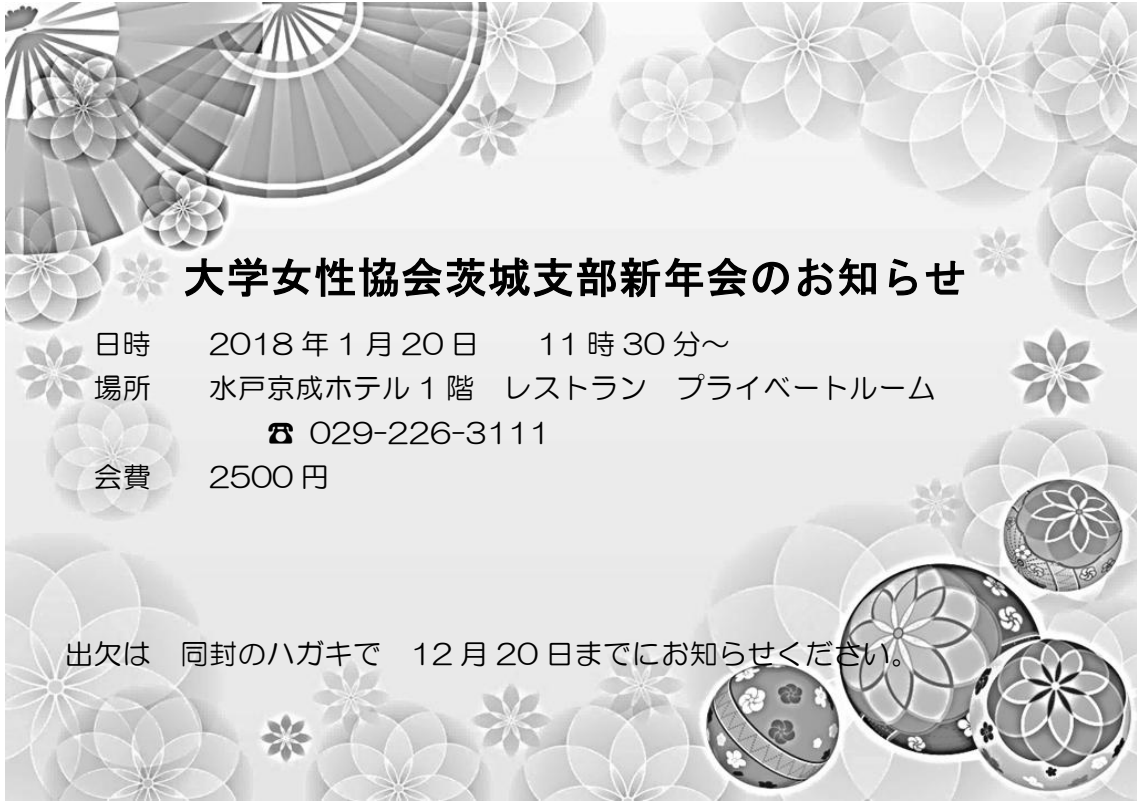
認識が変わった

- ・女性が自分の人生についてちゃんと考えないといけないことが分かった
- ・結婚したら専業主婦になるという考えでいたが、働く道もありなのかなと感じた
- ・昔よりは変わったが、社会はやはり男性中心である。でも、働く意欲のある女性がたくさんいる。女性はもっと社会進出すべき。今回、強い意志をもって社会の中で生きる女性の話を聞くことができ、自分も頑張ろうと思った。
- ・女性に未来はある
- ・自分のキャリアは自分で変えることができる。長らく専業主婦であっても。
- ・男女平等のありかた、意識がより強度になっている時代を感じる
- ・自分自身の気づきと、人生の出会いの中で、自立に向けて自分の道を開くことができるのは自分。

問6 ご感想をお聞かせください。

- ・これから就職する中で、自分の道は一つではないのだと感じた
- ・普段関わることができない方々のお話を聞くことができ刺激になりました。ありがとうございました。視野が広がった（同様1）
- ・自分からやりたいと思って始めることと続けることは大切なことだと実感した
- ・これからでも遅くない、何か見つけて頑張ろうとおもいました。
- ・子育てしながら働きたいという思いがより強くなりました。
- ・いつでもどこでも希望をもち行動することの大切さを感じた
- ・資格が重要であることを、若い人達のキャリア教育に必要であることを認識した。





大学女性協会茨城支部新年会のお知らせ

日時 2018年1月20日 11時30分～
 場所 水戸京成ホテル1階 レストラン プライベートルーム
 ☎ 029-226-3111
 会費 2500円

出欠は 同封のハガキで 12月20日までにお知らせください。

70周年記念事業について

詳細については改めてお知らせします。現在決まっている事柄をお知らせしますので、3月の予定に入れておいていただければ幸いです。

- 日時** : 2018年3月4日(日)
場所 : 水戸芸術館会議室
内容 : 講演と芸術鑑賞
講演 : 演題 未定
講師 : 森 花子さん NHKアナウンサー
 「茨城ニュース いば6」で現在活躍中
芸術鑑賞 : 「ハローワールド」
 デジタル技術や情報ネットワークなどをテーマに
 活躍する国内外アーティストのグループ展



NHK 茨城放送 HP より

編集後記

日系英国人のカズオ・イシグロ氏が今年のノーベル文学賞を受賞しました。ノーベル賞を受賞するとは思っていませんでしたが、氏の本を原書で読んでみたいと思い、数年前から少しずつ英語の勉強を始めました。還暦を過ぎてからの学習効果は？情けない限りですが…古希を迎えるころに、なるべく辞書を引かずに読めるように、「継続は力なり」を信じて頑張っ続けていくつもりです。

(夢見る昔少女)